

はじめに

当所は、昭和37年(1962年)に札幌市衛生試験所として誕生し、昭和48年(1973年)には札幌市衛生研究所と改称され現在に至っています。開設以来、当所の使命は時代によって対象となる事象は変遷しても、札幌市民の生命・生活を脅かす様々な事象に対して科学的な分析を行い、行政判断に具体的な根拠を持って寄与し、市民生活の安全・安心を確保することに変わりはないと考えます。

設立以来半世紀を超えた現在、私たちを取り巻く環境は大きく変化し、交通網や流通経路は格段に発達し、国内的にも国際的にもヒト・モノが迅速に往来することが可能な時代となりました。一方、地球上の環境は悪化し、環境汚染物質[PM2.5(微小粒子状物質)]のまん延等、様々な健康に対する脅威が国境を越え、本邦にも影響が及んでいます。更には、人獣共通感染症の病原体の多くは、野生生物と共存していた微生物に起因すると指摘されており、ヒトと環境の在り方について、最近では「One World - One Health」という考え方が唱えられています。すなわち、地球上の生態系の保全は、ヒト・動物両者の健康が相まって達成可能であり、その実現・維持にはヒト・動物両者の健康維持に向けた取り組みが必要である、というものです。確かに、私たちの住む北海道内の鳥インフルエンザやダニ媒介脳炎の発生等は、ヒトと環境との共存を考えさせる事象であり、私たちの身近なところで起きています。グローバル化の進んだ現在では、札幌市民にとっても決して無縁ではなく、差し迫った脅威となっています。

これらの問題へ着実に対応するために、当所では日頃より従来の検査技術の研鑽・向上に努めるだけでなく、新たな検査技術の修得のために、国や他自治体の研究機関との連携強化を図り、検査結果についての信頼性を確保するため積極的に外部精度管理を取り入れております。

ここに平成29年度の年報をお届けいたします。当所でのこの一年間の日常業務及び研究の成果であり、皆様方にはご一読のうえ、お気づきの点があればご指導のほどよろしく願いいたします。

平成30年(2018年)8月

札幌市衛生研究所長 三觜 雄